

Ⅱ 新品種・新技術の導入や樹園地の継承・集積で発展する競争力の高い果樹産地づくり

1 りんご「シナノリップ」の着色管理指導

■背景とねらい

りんご「シナノリップ」は県果樹試験場で育種された品種で平成 30 年から果実の販売がスタートし、着色や良食味などから栽培面積が増えている。しかし開花時期がばらつき、収穫時期がばらつくため、地色の抜け具合から収穫を判断することや着色管理が梅雨明け後の高温と重なり実施が難しい等の課題がある。

■本年度の取組と成果

(1) 「シナノリップ」の着色管理指導

長野地域の技術員対象に「シナノリップ」の収穫前管理と適期収穫について、果樹試験場を講師

に講習会を実施した。20 名程度の出席があり、葉摘みの時期等について意識の共有が図られた。また、ぼんど童の勉強会で葉摘みを実施し、着色具合や日焼けの状況を会員と確認した。

■今後の課題と対応

令和 3 年度は収穫前落果が発生し、特に高密度栽培で多く発生した。落果防止剤の使用は硬度の低下、果皮の黄色化などの果実の品質に影響があるため使用できない。新たな課題も含め、収穫前管理や収穫時期に課題が残る。引き続き講習会等で指導を行う。

(技術経営係 半田)

2 ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培技術・適期収穫の検討

■背景とねらい

ぶどう「クイーンルージュ®」は、早期に産地形成を進め、2021 年から市場への本格出荷となった赤系の品種である。現地ほ場の収穫適期を調査するために熟度調査及び J A と連携した講習会の開催を実施した。

■本年度の取組と成果

(1) 収穫適期調査の実施

長野地域園芸振興推進協議会、園芸畜産課と協力し、満開時からの積算温度、収穫 1 か月前からの熟度調査を実施した。調査は、小布施町の高接ぎ樹を対象に果皮色、糖度、酸度、一粒重の項目について実施した。調査結果について、関係機関及び出荷・販売目合わせ会時に参加された農家の皆様に伝達した。

(2) 「クイーンルージュ®」の栽培技術周知

通常の講習会時と合わせて栽培技術の周知を行った。「クイーンルージュ®」の特性について理解を深めるため、6 月に J A ながのちくまブロック 2 回、J A ながの須高ブロック 3 回、系統外の生産

者を対象に 3 回の講習会を実施した。

■今後の課題と対応

本年度は、本格出荷の年であった。引き続き、J A と連携し、栽培講習会等を開催する。また、現地で課題となった事項があれば果樹試験場及び専門技術員と連携し、高品質を目指したクイーンルージュ®の出荷支援をしていきたい。

(地域第三係 伊藤)



写真 講習会の様子